

有栖川宮記念公園 生物調査結果  
令和5年7月25日

	午前							午後							合計												
	モツゴ	クロダハゼ	スジエビ	ヌマエビ	メダカ	ウシガエル	ザリガニ	グッピー	地点計	モツゴ	クロダハゼ	スジエビ	ヌマエビ	メダカ	ウシガエル	ザリガニ	グッピー	地点計	モツゴ	クロダハゼ	スジエビ	ヌマエビ	メダカ	ウシガエル	ザリガニ	グッピー	地点計
A	7						7		14	19	2					18		39	26	2					25		53
B	113	2	3				9		127	35	3				6		44	148	5	3				15		171	
C	263	7				1			271	16	6				1		23	279	13				1	1		294	
D	67	2	3				4		76	35	3				4		42	102	5	3				8		118	
E	40	3	1						44	68							68	108	3	1						112	
F	9	2							11	14	2						16	23	4							27	
G	426		1						427	156	2	2			1		161	582	2	3				1		588	
H	102								102	154							154	256								256	
I	149	1							150	116	3	1					120	265	4	1						270	
J	69		2						71	42	4	1					47	111	4	3						118	
K	24		1						25	24					1		25	48		1				1		50	
L	3		2						5	17	1						18	20		2						23	
ペット罿	25					22	15		62	9				4	34		47	34					26	49		109	
任意採集	69	2	7	16	1	36	16	10	157									69	2	7	16	1	36	16	10	157	
合計	1366	19	20	16	1	59	51	10	1542	705	26	4			4	65	804	2071	45	24	16	1	63	116	10	2346	

令和5年8月25, 26日

	2023/8/25 (設置3時間)							2023/8/26(前日設置トラップ)							2023/8/26 (設置2時間)												
	モツゴ	クロダハゼ	スジエビ	ヌマエビ	メダカ	ウシガエル	ザリガニ	グッピー	地点計	モツゴ	クロダハゼ	スジエビ	ヌマエビ	メダカ	ウシガエル	ザリガニ	グッピー	地点計	モツゴ	クロダハゼ	スジエビ	ヌマエビ	メダカ	ウシガエル	ザリガニ	グッピー	地点計
A	31								31	-	-	-	-	-			-	3	1					1		5	
B	13	2							15	5		1						6	1						3		4
C	5								5	-	-	-	-	-			-	9						1		10	
D	21	3							24	3	1	1			1	1		7	11		1					12	
E	9								9	7	1							8	5		1					6	
F	30	1					1		32	4								4	26							26	
G	2								2	10		7						17	9							9	
H	40	1	2	1					44			1						1	1		5					6	
I	22						1		23	7						1		8	14	1	1			1		17	
J	15								15	4								4			2					2	
K	3								3	9	3							12					2			2	
L	12		3				1		16	1								1	2	12						14	
ペット罿	6					3	7		16	-	-	-	-	-			-						8	6		14	
任意採集					1	32	25	1	59										5	15				32	26	1	79
上流		19	3												2												
合計	209	26	8	1	1	35	35	1	294	50	5	10			3	2	68	86	29	10				42	38	1	206

駆除個体計		
ウシガエル	ザリガニ	グッピー
	1	
	3	
	1	
1	1	
	1	
	3	
2		
	1	
11	13	
64	51	2
2		
80	75	2

- 罿かけ実施せず (ペット罿) クサガメ1 スッポン2  
罿がいたずらされる (A、C地点) コシアキトンボ1

罿かけ付近に入水すると、罿での捕獲数に大きく影響すると思われる。

令和5年9月22日

		2023/9/22 (10:00~12:30)										
		モツゴ	クロダハゼ	スジエビ	ヌマエビ	メダカ	ウシガエル	ザリガニ	グツピ	シオカラ	オシオカラ	地点計
かご罟	A	18	1	9				2				30
	B	31	1	7				2				41
	C	2		1								3
	D	7		2				7				16
	E	119										119
	F	125						1				126
	G	28		3								31
	H	10	2									12
	I	134	2	5				1				142
	J	159		3								162
	K											
	L	5						1				6
	小計		638	6	30				14			
ベツト罟		7	1	2			13	13				36
任意採集	西谷						5	5				10
	菖蒲	1		1	1	1	51	10				65
	太鼓		2					13	26	3		44
	上流		19	3				5		1		28
	小計	1	21	4	1	1	56	33		27	3	147
合計		646	28	36	1	1	69	60		27	3	871

モツゴ  
当年魚が大半だが、各世代（2,3年魚）の個体が見られた。

オニヤンマ  
上流部での確認を試みたが、幼虫は採捕できず。

ウシガエル  
菖蒲園内での任意採集を強化した。

その他  
渡り途中のサンコウチョウを確認  
カワセミ若鳥（本年巣立ち）個体2頭。近くで繁殖か？  
ゴマダラチョウ産卵と思われる行動目立つ。

西谷 本池 西側の小さい谷口（定点K周辺）  
菖蒲 菖蒲園内（杭の内側）  
太鼓 太鼓橋上流部  
上流 上流谷川の合流部より上流

クサガメ 1 太鼓橋下  
かご罟Kは、2人組の少年に持ち去られる。  
3人組の大学生が、モツゴ採集。遠慮いただいた→放流。

令和5年度駆除個体数総計

	ウシガエル	ザリガニ	グツピ	計
7月	63	116	10	189
8月	80	75	2	157
9月	69	60		129
合計	212	251	12	475

ウシガエル、7月8月調査で、卵のうを採集。  
ウシガエル、ザリガニともに菖蒲園が繁殖の中心であると思われる。

有栖川公園池 生物調査結果

令和4年9月13, 14日

地点	在来種									外来種				その他	
	魚類、甲殻類					底棲生物				ブルーギル	カダヤシ	ウシガエル	ザリガニ	キンギョ	スッポン
	モツゴ	クロダハゼ	メダカ	スジエビ	ヌマエビ	シジミ	シオカラトンボ	オオシオカラトンボ	コシアキトンボ						
1										1					
2															
3										1					
4	2												2		
5															
6				1						1					
7	12	1		1						1		1			
8	2	1								1					
9	5														
10										3		2	2		
計	23	2	0	2	0	0	0	0	0	8	0	2	5	0	0

たも網	A	B	C	D	計										
魚類、甲殻類	4	4	1	1											
底棲生物					4										
ブルーギル					9										
カダヤシ					57										
ウシガエル					2										
ザリガニ					3										
キンギョ					1										
スッポン					1										
計	0	16	21	3	2	8	10	3	5	74	2	4	96	1	1

備考

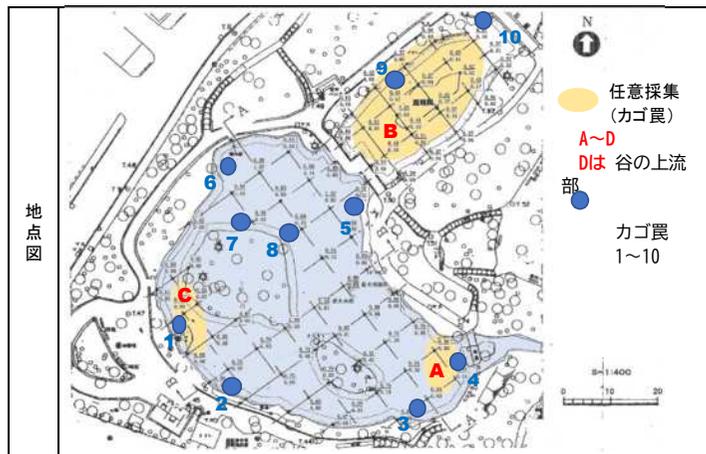
カゴ罟は10地点にそれぞれ3回設置（昼、夜間、昼）  
 タモ網での採捕は、5人で約30～45分  
 ウシガエルは、すべて幼生（ほとんど2年目個体）  
 B地点の菖蒲園（杭に囲まれた中島）に、メダカ、ウシガエル幼生などが多数。  
 →網が大きすぎて、うまく採捕できていない。  
 スッポンは、甲長約4cmの当年発生個体（=繁殖）。

その他の確認種

コイ：目視確認のみ  
 アカミミガメ：目視確認のみ  
 クサガメ：目視確認、及び子供が稚ガメを採集していた。  
 カワナナ：全地点で（タモ網）採捕できたが、。地点B、上流部に多い。

注目点

モツゴは、ほとんどが大型の成魚。  
 稚魚は確認できなかった。⇒他種に捕食されているのか？  
 ブルーギルは、体長5cm弱、および稚魚（当年魚）の2タイプ。  
 サイズが揃っている。⇒繁殖は最近始まったものと思われる。  
 カゴ罟での成果の偏り。  
 水深の深い7, 8地点及び菖蒲園で採捕数が多かった。  
 カメ類は、甲羅干しする個体が少ない。  
 今回は、日差しが弱く、甲羅干しのために上陸する個体が少なかった。  
 下見時には、アカミミガメ、クサガメ合わせて約50頭を確認している。



9月採取数の令和4年・5年のデータ比較

調査 (年)	捕獲種	令和4年									令和5年		
		モツゴ	クロダハゼ	メダカ	スジエビ	ヌマエビ	ブルーギル	カダヤシ	ウシガエル	ザリガニ	シトオカボラ	オオシトオカボラ	コシアボキ
カゴ罟	22年	23	2	0	2	0	8	0	2	5	0	0	0
	23年	638	6	0	30	0	0	0	0	14			
ペット罟	23年	7	1		2				13	13			
任意採集	22年	0	16	21	3	2	74	2	4	96	10	3	5
	23年	1	21	1	4	1			56	33	27	3	
合計	22年	23	18	21	5	2	82	2	6	101	10	3	5
	23年	646	28	1	36	1	0	0	69	60	27	3	0

※ 22年は、表に示されたもの以外シジミ、、カダヤシ、キンギョ、スッポンを捕獲。

モツゴの個体数変動

- ・22年9月は23頭しか捕獲できなかったが、23年9月には646頭が捕獲できた。
- ・捕獲方法の違いはあるが、有意な差だと判断できる。
- ・反対にブルーギルは、22年82頭に対し23年は一頭も捕獲されていない。
- ・22年度に捕獲された個体は、ほとんどが体長5cm程度の成魚。
- ・23年度は、様々なサイズが見られ、多が大半は1年魚(3cm程度)。